

2023年9月
森永乳業販売株式会社

エコキャップ回収運動 活動報告

2020年2月よりデイリーフーズビル（本社ビル）にて開始したエコキャップ回収運動を2022年度より全支店で活動を開始いたしました。活動状況を報告いたします。

○ 活動目的

森永乳業株式会社の「サステナビリティ中長期計画 2030」で掲げた3つのテーマのうち、「資源と環境」・「人と社会」にフォーカスし、社内のサステナビリティ活動のきっかけとして従業員の誰もが気軽に参加できるエコキャップ運動を行っております。弊社はエコキャップ運動を以下のような目的で行っております。

・支援国へワクチンの寄付

回収したキャップをリサイクル会社へ寄付し、そのキャップから製造したリサイクル製品を売却した利益を開発途上国へのワクチン代として寄付していただいております。

・ペットボトルゴミの分別

ペットボトルをリサイクルする際、キャップやラベルなどの異物が少ないほうがより純度の高い資源として再利用することができます。実際に、東京都港区の家庭ごみではペットボトルからキャップとラベルを外してこれらを資源プラスチックとして捨てることになっています。キャップとペットボトル本体を分けて処分することはリサイクルの効率化へ多少なりとも貢献できると考えております。この取り組みは、森永乳業グループ環境方針（※）の基本方針より、「循環型社会形成に向けて、廃棄物の3R（発生抑制、再使用、再生利用）及び適正処理を推進」することにもつながっていると考えております。

※森永乳業グループの環境方針 < <https://www.morinagamilk.co.jp/csr/environment/> >

○活動結果

2022 年度寄付実績

(回収期間：2022/4/1～2023/6/30)

合計	キャップ回収量		ワクチン	CO2 削減量※
	数量	重量		
	約 42,950 個	約 93 kg	約 43 人分	約 293g

※キャップをごみとして焼却した場合に想定される発生量

(キャップ 1 kgで約 3.150 g の CO2 が発生する想定)

○ 今後の目標

・ごみ削減の観点から、マイコップやマイボトルを使用する従業員も増えており、キャップの回収量が多いほどいいということではありません。適宜、より多くのペットボトルがキャップやラベルと分別して処分されることを目指します。

・ただキャップを集めるだけでなく、この活動を理解し、賛同したうえで協力いただけるように努めてまいります。そして従業員ひとりひとりがサステナビリティや資源と環境について目を向け、サステナビリティ活動の輪が広がるような活動を行ってまいります。